

A-046

鑄造用金銀パラジウム合金の熱処理について正しいのはどれか。

- (1) 軟化熱処理は、600～700℃で加熱後、自然放冷する。
 - (2) 硬化熱処理は、700～800℃で約 10 分間加熱後、水中急冷する。
 - (3) 硬化熱処理は、合金の融点に比較的近い高温で 10 分ほど加熱し、水中急冷する。
 - (4) 硬化熱処理は、軟化熱処理後に比較的低温 (250～400℃程度) で 10～20 分間再加熱する。
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

A-047

金合金に添加されている銅の働きとして正しいのはどれか。

- (1) 合金の伸びを増す。
 - (2) 合金の耐食性を増す。
 - (3) 合金の比例限度や引張強さを増す。
 - (4) 規則格子をつくり、時効硬化を可能とする。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

A-048

鑄込み温度が高い場合に起こる鑄造欠陥について次の語句のうち、正しいのはどれか。

- a 鑄肌荒れ
- b なめられ
- c 背圧多孔
- d 湯ざかい

A-049

鑄込み完了時間が凝固完了時間より長いときに発生する欠陥はどれか。

- a 収縮孔
- b 湯回り不良
- c 背圧多孔
- d ブローホール

A-050

口腔内で腐食しやすい状態はどれか。

- (1) 金属復修物表面が滑沢に研磨されている。
 - (2) 鑄造冠が偏析を生じた金属組織を有している。
 - (3) 異種金属の補綴物が口腔内で咬合によって接触する。
 - (4) 冷間加工されたクラスプに繰り返しの応力が生じている。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-051

咬頭嵌合位について正しいのはどれか。

- (1) 習慣的開閉口運動の終末位である。
- (2) 上下臼歯が決定する下顎位である。
- (3) 下顎の最後退位である。
- (4) 多数歯欠損症例の場合、咬頭嵌合位は明確でない。

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-052

フランクフルト平面(眼耳平面)について正しいのはどれか。

- (1) 両側の耳珠上縁点と眼窩下点を含む平面である。
- (2) 咬合平面とほぼ平行である。
- (3) カンペル平面とほぼ平行である。
- (4) 顔弓および咬合器使用時の基準面となる。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

A-053

咀嚼筋の作用で正しいのはどれか。

- (1) 咬筋は下顎骨を後上方に挙上する。
- (2) 顎二腹筋は開口筋である。
- (3) 外側翼突筋は下顎頭を前方に引く。
- (4) 内側翼突筋は閉口筋である。

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-054

下顎運動時の下顎頭の動きで正しいのはどれか。

- (1) 右側方運動時の右側下顎頭は前下内方に滑走する。
- (2) 右側方運動時の左側にベネット角が生じる。
- (3) 左側方運動時の右側下顎頭は水平的な回転をする。
- (4) 最大開口位に向かい、下顎頭は回転しながら前下方へ滑走する。

a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

A-055

半調節性咬合器について正しいのはどれか。

- (1) 模型咬合平面が咬合器上弓と平行になるようにする。
- (2) 前方チェックバイトを用いて矢状顎路角を求める。
- (3) 側方チェックバイトを用いて側方顎路角を求める。
- (4) 作業側と平衡側の調節ができる。

a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

A-056

咬合器について正しいのはどれか。

- (1) アルコン型は生体と同じように上弓に顆路指導要素があり下弓に顆頭球がある。
 - (2) 全調節性咬合器は作業側、非作業側顆路および顆頭間距離が調節できる。
 - (3) 半調節性咬合器は前方顆路のみが調節できる。
 - (4) スロット型咬合器は顆頭球の運動が生体の関節窩を模したフォッサボックスにより規定される。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

A-057

下顎安静位について正しいのはどれか。

- (1) 上下の歯が接触していない下顎位である。
 - (2) 生涯変わらない上下的基準位である。
 - (3) 習慣性閉口運動路終点にある。
 - (4) 水平的顎位の決定に利用される。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

A-058

全部床義歯に付与する両側性平衡咬合で正しいのはどれか。

- (1) 義歯の審美性を高める。
 - (2) 義歯の維持安定を図る。
 - (3) 前後的調節彎曲が付与されている。
 - (4) 側方的調彎曲が付与されている。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-059

フェイスボウを使用する目的について正しいのはどれか。

- (1) 咬合器の矢状顆路を決定する。
 - (2) 下顎の模型の咬合器装着に用いられる。
 - (3) チェックバイト採得の器具である。
 - (4) 顎関節に対する上顎歯列の位置関係を咬合器上に再現する。
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

A-060

次の組合せで正しいのはどれか。

- (1) ウィルソンの彎曲 —— 左右側臼歯の頬舌側咬頭を結ぶ側方彎曲
 - (2) ボンウィルの三角 —— 一辺の長さがほぼ4インチ(約10cm)の正三角形
 - (3) スピーの彎曲 —— 臼歯部頬側咬頭頂と犬歯先頭を連ねた前後彎曲
 - (4) バルクウィル角 —— 咬合平面とボンウィルの三角のなす角度
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-061

次の文章のうち正しいのはどれか。

- (1) 歯科技工士が終了した日から起算して、歯科技工指示書を2年間保存しなかった場合、罰金に処せられる。
 - (2) 歯科衛生士が歯科技工を業務として行う場合、歯科衛生士法違反となる。
 - (3) 歯科医師が歯科技工を業務として行う場合、歯科技工業務の業務独占違反となる。
 - (4) 無資格者による歯科技工の業務が行われた場合、懲役、もしくは罰金又はこれらの併科に処せられる。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

A-062

厚生労働省がかかわる任務はどれか。

- (1) 食品の安全・衛生に関すること
 - (2) 診療報酬に関すること
 - (3) 障害者の福祉に関すること
 - (4) 雇用対策に関すること
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-063

歯科技工指示書の記載項目として正しいのはどれか。

- (1) 歯科診療所の名称及び住所
 - (2) 作成の方法
 - (3) 発行の年月日
 - (4) 患者の氏名、年齢、性別
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

A-064

次の組合せで[誤っている]のはどれか。

- | | | | |
|---|--------|------|----------|
| a | 歯科医師法 | ———— | 診療録の保存義務 |
| b | 地域保健所法 | ———— | 保健所の設置 |
| c | 医療法 | ———— | 歯科技工所開設 |
| d | 薬事法 | ———— | 薬局の開設 |

A-065

歯科技工士の欠格事由について正しいのはどれか。

- (1) 歯科医療又は歯科技工士の業務に関して不正の行為があった者
 - (2) 心身の障害により歯科技工士の業務を適正に行うことができない者
 - (3) 道路交通法違反で罰金刑を受けた者
 - (4) 破産宣告を受けた者
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

A-066

歯科技工士免許の申請手続きに必要なものはどれか。

- (1) 受験票
 - (2) 歯科技工士養成所の卒業証書
 - (3) 医師の診断書
 - (4) 住民票
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

A-067

歯科技工士業務従事者届について正しいのはどれか。

- a 厚生労働省令で定める年の1月1日現在の状況を届け出なければならない。
- b 歯科技工の業務に従事していない歯科技工士も届け出る必要がある。
- c 所在地の都道府県知事に届け出なければならない。
- d 歯科技工業務従事者届の目的は、歯科技工士の分布・業態を把握するものである。

A-068

保健所の業務で正しいのはどれか。

- (1) 栄養改善、飲食物の衛生に関する事項
 - (2) 国民健康保険法に基づく保険料の徴収
 - (3) 歯科保健に関する事項
 - (4) 感染症疾患の予防に関する事項
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

A-069

歯科技工士免許証に関する事項で正しいものはどれか。

- a 免許証の再交付を受けた後、失った免許証を発見した時は5日以内に返納しなければならない。
- b 名簿の登録の削除を申請する時は15日以内に返納しなければならない。
- c 免許証の取消処分を受けた者は、30日以内に免許証を返納しなければならない。
- d 歯科技工士の死亡による名簿の登録の削除を申請する者は、歯科技工士法による届出義務者である。

A-070

歯科技工所の広告について正しいものを選びなさい。

- (1) 歯科技工所の名称
 - (2) 歯科技工士の氏名
 - (3) 歯科技工士の専門分野
 - (4) 歯科技工士の学歴
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

係員の指示があるまで開けてはいけません！

受験番号	
------	--

歯科技工士（模擬）試験

（平成17年度厚生労働科学研究用）

B：専門科目（2時間30分）

1. 問題は全部で5科目（有床義歯技工学・歯冠修復技工学・矯正歯科技工学・小児歯科技工学・歯科技工実習）で90問あります。
2. 問題用紙とは別に、解答用紙が1枚あります。
3. 問題用紙は、解答作成時の下書きに使っても差し支えありません。
4. 問題用紙右上に受験番号（3桁）を記入してください。
5. 解答用紙（解答シート）に3桁の受験番号（学生番号）、氏名（イニシャル：K. S など）および下記の例に従って学生番号（6桁）を記載してください。

（例）次の記入例に従って、学校コード（3桁：係員が指示）、受験番号（3桁：係員が指示）の順位にマークしてください。

大歯大技（080）受験番号（528）の場合

学 生 番 号 (6 桁)	十万の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	万の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	千の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	百の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	十の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	一の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

6. 解答はすべて解答用紙に記入し、問題用紙と解答用紙を合わせて提出してください。
7. 問題はすべて4者択一です。解答をひとつ選んで記入上の注意を参考にして記入してください。

（例）問題1. の解答が b であれば、

問題1 a b c d
 ○ ● ○ ○

（記入上の注意）

HBまたはBの黒鉛筆を使用して明瞭な●を記入してください。

（良い例） ● （悪い例） ⊖ ⊗ ⊘ ○

8. マークを誤ってつけたときは、必ず消しゴムであとが残らないよう完全に消してから解答し直してください。
9. 解答用紙（解答シート）は曲げたり、汚したりしないよう注意してください。
10. 問題についての質問は一切受け付けません。

B-001

全部床義歯の維持について正しいのはどれか。

- (1) 義歯床の面積
- (2) 義歯床の適合性
- (3) 人工歯の材質
- (4) 人工歯の咬合状態

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-002

全部床義歯の構造について正しいのはどれか。

- (1) 人工歯と義歯床とから成っている。
- (2) 義歯床の材質にはレジンと金属とがある。
- (3) 義歯床部の粘膜面（基底面）は唇頬舌と接触する部分である。
- (4) 人工歯の材質にはレジン、陶材、金属がある。

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-003

歯が失われた後における顎の変化について正しいのはどれか。

- (1) 上顎は頬側の歯槽骨の吸収が大きい。
- (2) 口蓋部の骨の吸収は少ない。
- (3) 上顎では歯を失うと垂直に高さを減じる。
- (4) 下顎では歯槽頂は内側（舌側）に移動する

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-004

上顎全部床義歯の床後縁の位置決定において参考となるのはどれか。

- (1) 口蓋隆起
- (2) アーライン
- (3) 口蓋小窩
- (4) ハミュラーノッチ

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-005

全部床義歯で顔貌を回復するにあたり考慮すべき歯の色調について正しいのはどれか。

- (1) 歯の色調は増齢とともに濃くなる傾向がある。
- (2) 歯の色調には性による違いは認められない。
- (3) 人工歯は歯科技工士が作業模型を見て決定する。
- (4) 人工歯の決定には、顔の皮膚、髪の色、目等の色調を考慮する。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-006

歯と歯列の審美的表現法であるSPA要素について正しいのはどれか。

- (1) 年齢
 - (2) 性格
 - (3) 身長
 - (4) 性別
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-007

全部床義歯製作に用いる個人トレーについて正しいのはどれか。

- (1) 機能印象する場合、辺縁の長さは床外形線より2～3mm短くする。
 - (2) ハンドルは中切歯のあったと思われる位置に設ける。
 - (3) 上顎トレーの後縁は床外形線より2～3mm後方とする。
 - (4) 下顎トレーには左右臼歯部にフィンガーレストを設ける。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-008

人工歯の排列に際し、交叉咬合排列を行う場合で正しいのはどれか。

- (1) 咬合平面と歯槽頂間線とのなす角度が80°以上の場合。
 - (2) 上顎の顎堤頬側の吸収が下顎より著しい場合。
 - (3) 下顎の顎堤が上顎の顎堤よりも著しく頬側に位置している場合。
 - (4) 下顎の臼歯が舌側に偏位して舌房が著しく狭くなっている場合。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-009

全部床義歯の歯肉形成について正しいのはどれか。

- (1) 臼歯部頬側では歯根豊隆を強く形成する。
 - (2) 下顎臼歯部舌側床翼は凹面に形成する。
 - (3) 前歯部口蓋側にS字隆起を形成する。
 - (4) 口蓋ヒダは中・側切歯部の範囲の口蓋に形成する。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-010

全部床義歯の製作においてリリースする部位はどれか。

- a 上顎結節
- b 口蓋隆起
- c 口蓋小窩
- d オトガイ孔

B-011

全部床義歯の人工歯排列について次の文のうち正しいのはどれか。

- (1) 前歯部での人工歯排列は咀嚼機能を最重視する。
- (2) 臼歯部では審美性を優先した位置に人工歯を排列する。
- (3) 下顎前歯部は外観よりも発音と義歯の維持安定に有利な位置に人工歯を排列する。
- (4) 下顎前歯部の排列は上顎人工歯との間に適度の垂直被蓋と水平被蓋を与える。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-012

重合した全部床義歯をスプリットキャスト法により咬合器に再装着したところ、切歯指導釘に浮き上がりを認めた。その原因として正しいのはどれか。

- (1) レジンの重合ひずみ
- (2) 填入したレジンの量が少なかった。
- (3) レジン填入時のバリの除去が不十分であった。
- (4) スプリット基底面あるいは凹みに異物が入った。

a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-013

重合後に全部床義歯を咬合器に再装着する方法で正しいのはどれか。

- (1) 顔弓を用いて咬合器に上顎義歯を再装着する。
- (2) テンチのコアを介して下顎の義歯を再装着する。
- (3) 前方チェックバイトを用いて上顎の義歯を再装着する。
- (4) スプリットキャストを介して上下顎の義歯を再装着する。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-014

流し込みレジン重合法による義歯製作で正しいのはどれか。

- (1) 100°C、60分間で湿熱重合して完成する。
- (2) 義歯の適合精度は加熱重合レジンと比較して良好である。
- (3) 寒天、シリコンラバーおよび石膏などで陰型を作る。
- (4) レジンを流し込む前にスプルーとベントを設ける。

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-015

全部床義歯の研磨について正しいのはどれか。

- (1) レーズによる研磨は研磨材を乾燥させて高速回転で行う。
- (2) 研磨ブラシは義歯に強く押しつけて研磨したほうが滑沢になる。
- (3) 粘膜面は表面を仕上げ研磨まで行うほうが好ましい。
- (4) 研磨材は目の荒いものから順に細かいものへ移っていく。

a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-016

部分床義歯を口腔内に装着する目的について正しいのはどれか。

- (1) 残存歯の二次齲蝕を防止する。
- (2) 咀嚼機能を回復する。
- (3) 残存歯の移動を防止する。
- (4) 残存歯の負担を軽減する。

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-017

部分床義歯の構成要素について正しいのはどれか。

- (1) スパーは間接維持装置である。
- (2) 隣接面板は義歯の着脱を誘導する。
- (3) パラタルプレートは義歯床である。
- (4) アタッチメントは連結装置である。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-018

即時義歯の利点で正しいのはどれか。

- (1) 抜歯後に歯槽骨吸収を生じない。
- (2) 抜歯後、直ちに審美性を回復できる。
- (3) 正常な咬合関係を保持する。
- (4) 抜歯創への異物による刺激を少なくする。

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-019

部分床義歯の床形態について正しいのはどれか。

- (1) 前歯部は審美性から無床とすることもある。
- (2) 遊離端義歯の頬側床縁は移行的にする。
- (3) 口蓋前方を横切る床は移行的にする。
- (4) 口蓋の床後縁は移行的にする。

a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-020

歯の欠損部位によるケネディの分類法について正しいのはどれか。

- (1) 第Ⅰ級から第Ⅳ級まで4つに分類される。
- (2) 第Ⅱ級は、両側に遊離端欠損を有するケースである。
- (3) 第Ⅳ級には類型がある。
- (4) 第Ⅲ級1類は片側性の中間欠損で、ほかにも中間欠損が1カ所あるケースである。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-021

クラスプの維持力に影響を及ぼす因子はどれか。

- (1) 鉤腕の長さ
- (2) 鉤腕の断面形態
- (3) 鉤腕の厚さ
- (4) 鉤腕のテーパード

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-022

部分床義歯の個人トレー製作について正しいのはどれか。

- (1) 残存歯とトレーとの間に一定のスペースを設ける。
- (2) ストッパーを残存歯部に設ける。
- (3) 欠損部には一般にスペーサーを設けない。
- (4) トレーの製作に先立ってサベヤーで着脱方向を決定する。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-023

部分床義歯の咬合床について正しいのはどれか。

- (1) 外形線は完成義歯の外形線より小さくする。
- (2) 基礎床は口腔内温度で変形しやすい材料は避ける。
- (3) 前歯部の咬合堤は外貌の変化の回復程度を加味して製作する。
- (4) 症例によっては咬合床の必要のない場合がある。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-024

サベヤーの使用目的について正しいのはどれか。

- (1) 歯冠部の最大豊隆線の描記
- (2) 鉤間線の記入
- (3) アタッチメントの取り付け
- (4) 鉤尖の位置の決定

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-025

サベヤーの付属品と用途の組合せで正しいのはどれか。

- (1) アンダーカットゲージ —— 鉤尖の決定
- (2) ワックストリマー —— ディンプルの形成
- (3) カーボンマーカー —— 鉤指導線の描記
- (4) テーパーツール —— ブロックアウト

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-026

エーカース鉤について正しいのはどれか。

- (1) ファーゾーンを維持部として利用する。
 - (2) 中間型サベイラインに適する。
 - (3) バークラスプより維持、把持力が弱い。
 - (4) 0.75mm アンダーカットに適する。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-027

線鉤の特徴で正しいのはどれか。

- (1) 鉤腕の2/3がアンダーカットに入る。
 - (2) 設計の自由度が小さい。
 - (3) 正確な適合が得られにくい。
 - (4) 支台歯に加わる側方圧は小さい。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-028

部分床義歯の臼歯部人工歯排列について正しいのはどれか。

- (1) 排列時に切歯指導釘を約1mm高くし、排列後に咬合調整を行う。
 - (2) 対合歯と顎堤間の距離が不十分な場合はレジン歯を使用する。
 - (3) 咀嚼能率を高めるため対合歯と広い面積で咬合接触させる。
 - (4) 負担軽減が必要な場合は頬舌径のやや小さいものを選択する。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-029

部分床義歯の歯肉形成について正しいのはどれか。

- (1) 歯頸線の位置は残存歯の歯頸線を考慮して設定する。
 - (2) 口蓋後縁部はコルベン状に形成する。
 - (3) 食物残渣が停滞しやすい部位では深い溝を形成しておく。
 - (4) 歯根部歯肉では極端に凹凸がつかないように形成する。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-030

金属床部分床義歯について正しいのはどれか。

- a 設計の自由度は小さい。
- b 熱伝導性が低い。
- c 修理が容易である。
- d オルタードキャスト法に便利である。

B-031

歯冠修復の目的について正しいのはどれか。

- (1) 欠損歯質の回復
- (2) 口腔組織の保護
- (3) 咬合関係の回復、改善
- (4) 審美性の回復、改善

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-032

部分床義歯と比較した場合のブリッジの特徴について正しいのはどれか。

- (1) 齲蝕や歯周疾患が少ない。
- (2) 咀嚼効率がよい。
- (3) 歯根膜負担義歯である。
- (4) 装着後の修理・修正が容易である。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-033

歯冠修復物に求められる生物学的要件はどれか。

- (1) 歯列と調和していること
- (2) 生体に対する為害性のないこと
- (3) 十分な辺縁の適合性が得られていること
- (4) 適正な歯冠の豊隆が付与されていること

a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-034

修復物の審美的要件を満たすために配慮すべき点はどれか。

- (1) 解剖学的歯冠形態
- (2) 残存歯色調との調和
- (3) 歯頸部と上唇の位置関係
- (4) スマイルラインと切縁の走行状態

a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-035

印象採得に用いる個人トレーについて正しいのはどれか。

- (1) 研究模型製作に用いられる。
- (2) トレー外形は歯肉頬移行部に設定する。
- (3) 印象時に変形しない強度を付与する。
- (4) 印象材の厚みを均一にするためにスペーサーを設置する。

a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-036

テンポラリークラウン・ブリッジの目的について正しいのはどれか。

- (1) 咀嚼機能を維持する。
- (2) 歯周組織を保護する。
- (3) 最終修復物設計の参考とする。
- (4) 隣在歯の移動、対合歯の挺出を防止する。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-037

作業模型の利点で正しいのはどれか。

- (1) 修復物作製時、直視直達が可能で技工を正確にできる。
- (2) 印象、模型の精度が修復物の正確度に影響する。
- (3) 完成した修復物を十分に検討できる。
- (4) 鑄造欠陥があった場合、すぐに再製作が可能である。

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-038

作業模型の特徴として正しいのはどれか。

- (1) 歯型固着式模型は支台歯間の位置関係が正確である。
- (2) 分割復位式模型は結合部にガイドが必要である。
- (3) 歯型可撤式模型は歯列模型を分割せずに歯型を着脱できる。
- (4) 副歯型式模型は辺縁の適合性を高めるのに有効である。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-039

歯型のトリミングについて正しいのはどれか。

- (1) 辺縁以下をやや下すぼまりにする。
- (2) 形成限界部を明確にするために行う。
- (3) 適正な歯冠豊隆を与えるために行う。
- (4) ワックスパターンの辺縁形成を容易にするために行う。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-040

歯頸部辺縁形態について {誤っている} のはどれか。

- a シャンファーは辺縁の位置が明瞭である。
- b ナイフエッジは前装鑄造冠に用いられる。
- c ベベルは窩縁斜面と同様に辺縁の適合を高める。
- d ショルダーはジャケットクラウンに用いられる。

B-041

前歯部のキャストコアについて正しいのはどれか。

- a ポストの長さは歯冠長の $1/2 \sim 1/3$ とする。
- b 冠の着脱方向とポストの方向を一致させる必要がある。
- c 唇側では前装材の厚さを考慮してコアの形態を決定する。
- d 陶材焼付鑄造冠を装着する場合はコアにも同じ金属を使用する。

B-042

ワックスアップについて正しいのはどれか。

- (1) 盛り上げ法は歯冠の構成要素ごとに形成していく。
- (2) ワックスパターンは埋没する直前まで歯型上に保持しておく。
- (3) 埋没前にマージン部だけを切り取り再度ワックスアップする。
- (4) ワックスの軟化、溶融は操作可能なできるだけ低い温度で行う。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
- c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-043

ワックスパターンへのスプルーイングについて正しいのはどれか。

- (1) 非機能咬頭外側面部に植立する。
- (2) スプルーは蠟型の最大肉厚部である咬頭頂に植立する。
- (3) 通気性の小さな埋没材を使用するときはベントスプルーを設ける。
- (4) スプルーは融解金属の流れがスムーズに行われる方向に植立する。

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
- c (2), (3) d (4) のみ

B-044

鑄造冠の研磨の目的について{誤っている}のはどれか。

- a 表面を滑沢にして舌感を良くする。
- b 金属の腐食や変色を防止する。
- c 咀嚼能率を向上させる。
- d 歯肉への機械的刺激を少なくする。

B-045

インレーについて正しいのはどれか。

- (1) 修復材料により窩洞形態が異なる。
- (2) ブリッジの支台装置として使用できる。
- (3) ポーセレンインレーは縁端強さに優れる。
- (4) メタルインレー窩洞には窩縁斜面が必要である。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
- c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-046

大臼歯の近心隣接面齲蝕に対して、咬合面に便宜形態を求めたメタルインレー窩洞の名称として正しいのはどれか。

- (1) OD窩洞
 - (2) MO窩洞
 - (3) ブラックのⅡ級窩洞
 - (4) ブラックのⅣ級窩洞
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-047

部分歯冠修復物について正しいのはどれか。

- (1) プロキシマルハーフクラウンは大臼歯部ブリッジの支台装置として用いる。
 - (2) 4/5クラウンは主に臼歯部の咬合面、頬側面、舌側面、遠心面を被覆する。
 - (3) 3/4クラウンはピンレッジより審美性に優れている。
 - (4) ピンレッジは前歯部の有髄歯の支台装置として用いる。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-048

全部被覆冠と比較した場合の一部被覆冠の特徴で正しいのはどれか。

- (1) 歯質の削除量が少ない。
 - (2) 歯周組織への為害性は多い。
 - (3) 適合の確認が容易である。
 - (4) 形態の再現が容易である。
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-049

全部被覆冠について{誤っている}のはどれか。

- (1) 歯冠の全面を被覆して咀嚼その他の生理機能を回復する。
 - (2) 前歯部および臼歯部のいずれにも適用される。
 - (3) 生活歯、失活歯のいずれにも適用される。
 - (4) 全部被覆冠には金属のみが用いられる。
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-050

レジン前装鑄造冠の特徴として正しいのはどれか。

- (1) 支台歯唇側部の削除量が多い。
 - (2) 陶材に比べると、前装部の耐摩耗性が低い。
 - (3) 審美性を高めるため接触点はレジンで回復する。
 - (4) 対合歯と咬合接触する部位は金属で製作する。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-051

陶材焼付鑄造冠について正しいのはどれか。

- (1) 陶材焼付部分の金属は最低 0.3 mmの厚さが必要である。
- (2) 陶材焼付面はなだらかな曲面にする。
- (3) 咬合力が金属と陶材との境界部に加わらないようにする。
- (4) 金属面に生ずる酸化膜は陶材との結合に役立つ。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-052

ジャケットクラウンについて正しいのはどれか。

- (1) 歯の審美性を回復する方法である。
- (2) ベベルを付与した支台歯においては適合性を高めることはできない。
- (3) ブリッジの支台装置に応用できる。
- (4) 咬合耐久性に優れる修復法である。

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-053

ブリッジについて正しいのはどれか。

- (1) 欠損歯数の増加に伴い支台歯数を増加する。
- (2) 可撤性ブリッジは清掃性の確保から用いられる。
- (3) ブリッジの構成は歯型、支台装置、ポンティック、連結部である。
- (4) 半固定性ブリッジは支台歯の平行が得にくい場合には応用できない。

- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-054

半固定性ブリッジについて正しいのはどれか。

- (1) 連結部のいずれかをセメント合着しない。
- (2) 機能圧の負担を支台歯に均等に配分できる。
- (3) 前歯部から臼歯部にわたるような大型のブリッジに応用する。
- (4) 連結部にキーアンドキーウェイが用いられる。

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-055

陶材焼付法によるブリッジに用いられる材料で温度の低い順に並んでいるのはどれか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 前鑢付け用鑢の融点 | (2) 後鑢付け用鑢の融点 |
| (3) 焼付用合金の融点 | (4) オペーク陶材の焼成温度 |
| (5) ディギャッシングの温度 | |

- a (2) → (4) → (5) → (1) → (3)
b (3) → (1) → (5) → (4) → (2)
c (3) → (1) → (4) → (5) → (2)
d (2) → (5) → (4) → (1) → (3)

B-056

臼歯部固定性ブリッジの支台装置として使用できるのはどれか。

- (1) 二重金冠
 - (2) 4/5 クラウン
 - (3) レジン前装鑄造冠
 - (4) 硬質レジンジャケットクラウン
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-057

ブリッジの支台歯負担軽減法について正しいのはどれか。

- (1) スピルウェイを形成する。
 - (2) ポンティックの頬舌径を狭くする。
 - (3) ポンティックは対合歯と接触させない。
 - (4) ポンティック基底部の接触面積を大きくする。
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-058

ポンティックの基底面形態で考慮すべき事項はどれか。

- (1) 欠損部位
 - (2) 清掃性
 - (3) 使用材料
 - (4) 審美性
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)～(4) のすべて

B-059

上顎前歯部の固定性ブリッジのポンティックとして正しいのはどれか。

- (1) 鞍状型
 - (2) リッジラップ型
 - (3) 偏側型
 - (4) 船底型
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-060

ブリッジの連結法について正しいのはどれか。

- (1) 固定性連結には、鑢付け法とワンピースキャスト法がある。
 - (2) 連結部の耐食性は鑢付け法のほうが優れている。
 - (3) ワンピースキャスト法は同種金属であるため機械的強度に優れる。
 - (4) 鑢付け法はロングスパンのブリッジに応用される。
- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-061

正常咬合について{誤っている}のはどれか。

- a 個性正常咬合とは正常変位内にある個人差を認めた咬合をいう。
- b 典型正常咬合とはある人種または民族に最も共通的な特徴を持った咬合をいう。
- c 暦齢正常咬合とは各年齢に応じてそれぞれの段階で正常とみなされる咬合をいう。
- d 仮想正常咬合とは解剖学的に理想的な咬合様式をいい、矯正治療の最終目標である。

B-062

次のうち正しいのはどれか。

- a 捻転とは長軸を中心に回転した歯のことである。
- b 正常咬合では下顎の前歯が上顎の前歯を被蓋する。
- c 八重歯とは上顎犬歯の高位唇側転位のことである。
- d 交叉咬合は上下歯列弓の前後的關係の異常である。

B-063

アングルの不正咬合の分類について正しいのはどれか。

- (1) I 級は正常咬合である。
 - (2) II 級 1 類は下顎遠心咬合でオーバージェットが大きい。
 - (3) II 級 2 類は下顎遠心咬合で上顎前歯の後退を伴う。
 - (4) III 級は下顎歯列弓の上顎歯列弓に対する近心咬合である。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)~(4) のすべて

B-064

開咬の説明として正しいのはどれか。

- (1) 局所的に臼歯部に現れることもある。
 - (2) 上下歯列弓の左右關係の異常である。
 - (3) 上下顎前歯が数歯にわたって高位となる。
 - (4) アングルの分類 I、II、III 級のそれぞれに開咬は存在する。
- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)

B-065

矯正用口腔模型について正しいのはどれか。

- (1) 平行模型で顎顔面頭蓋と歯列の位置關係は判定できない。
 - (2) 顎態模型の咬合平面は模型の上面と下面の中央に位置させる。
 - (3) 顎態模型は眼耳平面、正中矢状平面、眼窩平面を再現できる。
 - (4) セットアップ模型はアクチバトール製作の作業模型の原型となる。
- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1)~(4) のすべて

B-066

矯正用線の屈曲について正しいのはどれか。

- (1) 矯正用線とプライヤーとは直交するよう保持する。
- (2) ワイヤの太さによってプライヤーの種類を選択する。
- (3) 鋭角的な屈曲にはプライヤーの保持部から離れたところを押す。
- (4) 屈曲の不適合が認められたときは最初に曲げた部分から屈曲し直す。

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-067

咬合挙上板を製作するときに必要な器具・器材として正しいのはどれか。

- (1) 人工歯
- (2) 拡大ネジ
- (3) アングルのプライヤー
- (4) 矯正用線

- a (1), (3), (4) b (1), (2)
c (2), (3) d (4) のみ

B-068

保定装置について [誤っている] のはどれか。

- a 固定式のものと可撤式のものとがある。
- b 矯正用線を必要としない保定装置もある。
- c ラップアラウンドリテーナーは上顎のみに用いる。
- d ホーレー保定装置の唇側線は直径 0.9 mm の矯正用線を用いる。

B-069

舌側弧線装置について正しいのはどれか。

- (1) 補助弾線は主線に鑑付けする。
- (2) 歯の移動は補助弾線の弾力性によって行われる。
- (3) 維持チューブはできる限り歯頸部寄りに鑑付けする。
- (4) 主線と脚部は第一小臼歯と第二小臼歯の間で鑑付けする。

- a (1), (3) b (1), (2), (4)
c (2), (3), (4) d (1) ~ (4) のすべて

B-070

次の矯正装置のうち可撤式で機能的なものとして正しいのはどれか。

- (1) 咬合斜面板
- (2) チンキャップ
- (3) マルチブラケット装置
- (4) バイオネーター

- a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)